

プラセンタ療法

プラセンタ療法は、胎盤から有効成分を抽出したプラセンタエキスを、皮下注射や筋肉注射または経口投与する治療法です。特に、医療用医薬品として承認された薬剤（ヒト胎盤由来）を用いた**プラセンタ注射**は、更年期障害、肝炎、アトピー性皮膚炎、腰痛、神経痛、関節痛、リウマチ など、さまざまな疾患への効果がみられます。

さらに、抗加齢領域でも注目され、アンチエイジング、若返り、肌の美容目的に用いられています。その他、疲労回復、精力増進、滋養強壮、風邪予防 などにも使用されています。

プラセンタ注射の効果

- (1) 美肌効果：保湿、肌荒れ、小じわ、しみ、くすみ、そばかすの改善
- (2) 自律神経失調症の治療、不眠症の治療、ストレス・イライラの解消
- (3) 疲労回復効果
- (4) 免疫力を高める効果
- (5) 花粉症、アトピー性皮膚炎、喘息などに対する抗アレルギー作用
- (6) 更年期障害の治療：のぼせ、冷え、不眠、イライラ感、頭痛などの改善
- (7) 疼痛の治療：肩こり、腰痛、五十肩、その他の関節痛、神経痛など
- (8) 血行促進作用
- (9) 抗酸化作用
- (10) 肝疾患の治療：ウイルス性肝炎やアルコール性肝炎の肝組織修復、脂肪肝の改善
- (11) 産後の乳汁分泌を促進
- (12) 月経困難症、生理不順の治療
- (13) 膠原病、慢性関節リウマチの治療
- (14) 慢性胃炎、十二指腸潰瘍、潰瘍性大腸炎の治療
- (15) 高血圧、糖尿病の治療

このようにプラセンタ注射は、さまざまな効果があり、副作用も比較的少なく、安全性の高い治療法です。上記のような症状でお悩みの方はぜひご相談ください。

「更年期障害」「乳汁分泌不全」「肝疾患」の方は、医師の診察の上、保険適応となる場合がありますので、お申し出ください。更年期障害が心配な方は「簡略更年期指数（SMI）自己チェック表」もご記入ください。（45歳～59歳までの女性が対象です。）

治療をご希望の方には、「注射剤についてのご説明」をお読みいただき、同意書にサインしていただいた上で、治療を行います。

日付 年 月 日

ID

氏名

プラセンタ療法

メルスモン

■ 初診の方

「プラセンタ注射の効果」をお読みいただき、治療を希望される方は、「メルスモン注射剤についてのご説明」をお読みいただき、同意書にサインしていただきます。

■ 治療費

注射料のほかに、初診時のみ初診料として3,000円をいただきます。

再診の場合は注射料のみです。（再診料はございません。）

※医師の診断で健康保険の適応となる場合があります。

■ 化粧品や健康食品をお求めの方は、ご希望の項目に数量をご記入ください。

プラセンタ注射

(単位：円)

チェック	本数	規格・単位	税別金額	税込金額
	メルスモン 1本	1A (2ml)	909	1,000

※医師の診断で健康保険の適応となった場合は金額は保険の範囲内です。

プラセンタ化粧品

(単位：円)

数量	項目	規格・単位	税別金額	税込金額
個	メルスモン モイストソープ	100 g	2,273	2,500
個	メルスモン リンクルエッセンスXL	35ml	13,636	15,000
個	メルスモン プラセン100DC	30ml	9,091	10,000
個	メルスモン モイスチャークリームDX	30ml	9,091	10,000

プラセンタ健康食品

(単位：円)

数量	項目	規格・単位	税別金額	税込金額
個	メルスモン ピュアクリスタルカプセル	2粒×30包	13,636	15,000
個	メルスモン カプセル	120カプセル	12,727	14,000
個	メルスモン ゴールドリキッド	10ml×30本	13,636	15,000
個	メルスモン プラチナリキッド	10ml×30本	16,364	18,000

特定生物由来製品

メルスモン投与記録票

製造番号	使用期限	投与量 (A)	備考

メルスモン注射剤についてのご説明

医療法人社団うつぎ会 法典クリニック

院長 加地展之

メルスモン注射剤は、1956年（昭和31年）に承認された医療用医薬品です。
国内の、安全なヒト胎盤を原料とした注射薬で、多種のアミノ酸を含有しています。

◎次のような病気や症状の改善に使われます。

更年期障害による諸症状（のぼせ・冷え・不眠・イライラ感・頭痛・疲労・肩こり・腰痛など）の改善。

又、産後、乳汁分泌が少ない方の治療に使われます。美容（肌の乾燥、シワなど）にも効果的です。

◎次のような副作用があります。

注射部位の疼痛、発赤等や、悪寒、発熱、発疹等が起こることがあります。

その場合は、医師にお申し出下さい。

◎ウィルスや細菌などに対する安全性

胎盤1つずつについてウィルス検査を実施し、HBV、HCV、HIV 陰性であることが確認された安全な胎盤を原料としています。さらに、製造の最終段階に121℃・30分間の高圧蒸気滅菌を実施しており、ウィルス・細菌の感染防止対策をとっております。

これまで、本剤によると思われるウィルス感染の発生報告はありません。

◎変異型クロイツフェルト・ヤコブ病（vCJD）* に対する安全性

1980年代～2004年頃まで英国を中心に狂牛病が流行し、その肉の摂取が関連すると思われる変異型クロイツフェルト・ヤコブ病(vCJD)の発症が報告されました。

メルスモン注射剤は、この狂牛病が流行した時期に、それらの地域に滞在経験がある方の胎盤は原料として使用しておりません。さらに、製造工程におきまして、塩酸による高熱処理を実施しているため、たん白質は分解されています。

*クロイツフェルト・ヤコブ病(CJD)とは、異常プリオンたん白が脳内に蓄積し、進行性の認知症や運動障害などの脳症状をおこす極めて稀な病気です。狂牛病が原因と考えられているものを変異型と称しています。

◎献血制限及び臓器提供制限について

世界では輸血や移植による感染が疑われる報告もありますが、これまで、メルスモン注射剤によると思われるvCJDの感染報告はありません。しかしながら、理論的なvCJD等の伝播の危険性を完全には否定できません。このため、メルスモン注射剤を含む人胎盤由来医薬品の使用者は、献血は出来ません。臓器提供は原則として控えることが求められています。

但し、臓器提供の場合、移植希望者が移植医から適切な説明を受けた上で、提供を受ける意思を明らかにしている場合の提供は可能です。

メルスモン注射剤についてのご説明

医療法人社団うつき会 法典クリニック

院長 加地展之

メルスモン注射剤は、1956年（昭和31年）に承認された医療用医薬品です。
国内の、安全なヒト胎盤を原料とした注射薬で、多種のアミノ酸を含有しています。

◎次のような病気や症状の改善に使われます。

更年期障害による諸症状（のぼせ・冷え・不眠・イライラ感・頭痛・疲労・肩こり・腰痛など）の改善。
又、産後、乳汁分泌が少ない方の治療に使われます。美容（肌の乾燥、シワなど）にも効果的です。

◎次のような副作用があります。

注射部位の疼痛、発赤等や、悪寒、発熱、発疹等が起こることがあります。
その場合は、医師にお申し出下さい。

◎ウイルスや細菌などに対する安全性

胎盤1つずつについてウイルス検査を実施し、HBV、HCV、HIV 陰性であることが確認された安全な胎盤を原料としています。さらに、製造の最終段階に121℃・30分間の高圧蒸気滅菌を実施しており、ウイルス・細菌の感染防止対策をとっております。

これまで、本剤によると思われるウイルス感染の発生報告はありません。

◎変異型クロイツフェルト・ヤコブ病（vCJD）* に対する安全性

1980年代～2004年頃まで英国を中心に狂牛病が流行し、その肉の摂取が関連すると思われる変異型クロイツフェルト・ヤコブ病(vCJD)の発症が報告されました。

メルスモン注射剤は、この狂牛病が流行した時期に、それらの地域に滞在経験がある方の胎盤は原料として使用しておりません。さらに、製造工程におきまして、塩酸による高熱処理を実施しているため、たん白質は分解されています。

*クロイツフェルト・ヤコブ病(CJD)とは、異常プリオンたん白が脳内に蓄積し、進行性の認知症や運動障害などの脳症状をおこす極めて稀な病気です。狂牛病が原因と考えられているものを変異型と称しています。

◎献血制限及び臓器提供制限について

世界では輸血や移植による感染が疑われる報告もありますが、これまで、メルスモン注射剤によると思われるvCJDの感染報告はありません。しかしながら、理論的なvCJD等の伝播の危険性を完全には否定できません。このため、メルスモン注射剤を含む人胎盤由来医薬品の使用者は、献血は出来ません。臓器提供は原則として控えることが求められています。

但し、臓器提供の場合、移植希望者が移植医から適切な説明を受けた上で、提供を受ける意思を明らかにしている場合の提供は可能です。

同 意 書

医療法人社団うつき会 法典クリニック

院長 加地展之 殿

私は、上記のメルスモンの作用、副作用および安全性について理解し、メルスモン注射薬による治療を受けることに同意いたします。

年 月 日

患者氏名 _____

実施内容 メルスモン注射剤による治療

「簡略更年期指数 (SMI)」 自己チェック表

記入日 _____ 年 _____ 月 _____ 日 _____

簡略更年期指数 (SMI)

症状の程度に応じて、自分で○をつけてから点数を入れ、その合計点をもとにチェックします。

どれか1つの症状でも強くであれば「強」に、○をして下さい。

症 状	強	中	弱	無	点数
①顔がほてる	10	6	3	0	
②汗をかきやすい	10	6	3	0	
③腰や手足が冷えやすい	14	9	5	0	
④息切れ、動悸がする	12	8	4	0	
⑤寝つきが悪い、または眠りが浅い	14	9	5	0	
⑥怒りやすく、すぐイライラする	12	8	4	0	
⑦くよくよしたり、憂うつになることがある	7	5	3	0	
⑧頭痛、めまい、吐き気がよくある	7	5	3	0	
⑨疲れやすい	7	4	2	0	
⑩肩こり、腰痛、手足の痛みがある	7	5	3	0	
合 計 点					

更年期指数の自己採点の評価法

0～ 25 点・・・上手に更年期を過ごしています。これまでの生活態度を続けて良いでしょう。

26～50 点・・・食事、運動などに注意をはらい、生活様式などにも無理をしないようにしましょう。

51～65 点・・・医師の診察を受け、生活指導、カウンセリング、薬物療法を受けた方が良いでしょう。

66～80 点・・・長期間（半年以上）の計画的な治療が必要でしょう。

81～100 点・・・各科の精密検査を受け、更年期障害のみである場合は、専門医で長期の計画的な対応

が必要でしょう。

法典クリニック